

# 佐世保自衛隊後援会だより

(発行)  
佐世保自衛隊後援会  
会長 金子 卓也  
佐世保市湊町6番10号  
(佐世保商工会議所内)  
TEL (0956) 22-6121

## 7/8 自衛隊視察研修・取引支援セミナー開催



水陸機動団高級幕僚 井川1等陸佐より部隊概要等について説明



佐世保地方総監部契約課長 高橋2等海佐より契約業務等について説明



水陸機動団各種装備品について研修



佐世保地方総監部への入門手続き等について研修

### 海上自衛隊佐世保地方総監部・陸上自衛隊水陸機動団 視察研修・取引支援セミナー開催

7月8日(金)9時30分より、海上自衛隊佐世保地方総監部 陸上自衛隊水陸機動団への視察研修を兼ねた自衛隊取引支援セミナーを当自衛隊後援会主催で開催、28社35名が参加した。午前中は海上自衛隊佐世保地方総監部を視察。契約課長 高橋2等海佐より同総監部の契約業務等について研修した。佐世保地方総監部の契約額は年間200〜300億円で推移。うち約8割は艦船修理、装備品等が占めており、令和2、3年度は佐世保市内での受注額が増加しているとのこと。参加者はその後、契約課事務室、入札室等を見学した。午後には陸上自衛隊水陸機動団を視察。高級幕僚 井川1等陸佐による水陸機動団の概要説明の後、施設見学、西部方面会計隊第363会計隊長の渡邊3等陸佐による入札方式、規模、算入方法等に関する研修を実施した。竹松駐屯地(大村市)に第3水陸機動連隊が配備されることから、相浦駐屯地でも令和6年3月には隊員が約3,000名に増える見込み。また、昨年度の相浦駐屯地の支出決算状況は149.5億円、うち人件費は138億円を占める。

今回の参加者には、自衛隊との取引経験がない、はじめて自衛隊施設に入ったという方も多く、「今回の研修を通じて自衛隊と取引を始めた」といった声も聞かれた。

### 水陸機動団教育開始式

7月4日(月)、相浦駐屯地体育館にて、「新隊員特技課程及び一般曹候補生課程(後期)教育開始式」が行われた。本課程は小銃小隊に装備される各火器の射手に必要な知識、技能及び副砲手、弾薬手に必要な知識及び技能を習得することを目的としている。全国から集まった精鋭117名が7月1日から9月16日までの約10週間、訓練を受ける。担任官は第1水陸機動連隊連隊長 開1等陸佐。教育隊長は、第1水陸機動連隊第1中隊長 森山3等陸佐。

### 佐世保自衛隊後援会定期総会開催

7月5日(火)15時より、令和4年度定期総会を佐世保ワシントンホテルで開催、全議案異議なく承認された。総会終了後は、海上自衛隊佐世保地方総監の西海将から、「海上自衛隊の活動」という演題で防衛講話を頂いた。

### 佐世保自衛隊後援会 2022年度事業計画内容(抜粋)

「隊員・家族向けサービス事業」  
自衛隊隊員および隊員家族への日頃の感謝の意を込めてサービスを提供することで、佐世保が自衛隊を応援している街であることを実感してもらい、また佐世保市内で購買してもらうことで経済活性化の助とする。



(例)サービス提供事業者は自衛隊後援会会員章を入口等わかりやすい場所に提示

・来店した自衛隊関係者から「隊員証」を提示、サービスを提供する。  
(飲食店例)ドリンク一杯サービス等  
事業所と自衛隊間ではサービス内容にかかる「協定書」締結、部隊内で情報共有される。



2022(令和4年度)佐世保自衛隊後援会定期総会

7月5日 講話要  
防衛概

# 「海上自衛隊の活動」

佐世保地方総監 海将 西 成人



た。今回5回目の長崎勤務という事で本場に第二の故郷以上という気持ちで長崎・佐世保に来たという事であります。

## ■「無私」

私の経歴の中で紹介したいのは、平成11(1999)年の海上幕僚長の副官時代の話です。副官は通常1年で交代していきましても、私はこの海上幕僚長副官を2年務めさせて頂きました。今でも座右の銘に次ぐ言葉として心の中に刻まれているのが、当時、海上幕僚長の乗る車の助手席に私が座って、「海上幕僚長、なぜあなたは海上幕僚長になれたと思いますか」と質問したことがあります。まだ若かったので、自分が海上幕僚長になりたいたかそういうことではなくて、やはり組織の長になる人は何か持って、意識しながら生きているという、それをちょっと知りたいという思いがあつて聞いたんです。普通はこいつ何言っているんだみたいな感じで反応されても仕方がないと思うのですが、私がお伝えしていた海上幕僚長は、「うーん、無私だ」と言った

## ■北朝鮮の動向

北朝鮮は2012年に金正日から金正恩に代わりました。金正日の時にミサイル約16発を发射しています。金正恩に代わって、もう約110発以上。特に今年に入ってから17回、30発以上のミサイルを撃っているというような現状です。そのような中で北朝鮮の弾道ミサイルの技術、攻撃力というものは、我々が心配になるくらい上がってきている。長射程化につままして、ムスタン、あるいは火星12号。これは中距離弾道ミサイルと言われるもので、米軍の重要基地であるグアムが射程に入ってくる。大陸間弾道ミサイルとは、射程が5,500kmを超えるものを言います。火星14号は、2017年に発射された初めての大陸間弾道ミサイルとなります。これによって米国の太平洋上の最も重要な基地

## ■中国の動向

中国の軍事力についてですが、国防費は過去30年間ずっと上がってきて、現在は日本円で約20兆円、日本の約4倍です。これは公表ベースで、実際はもっと中国の国防費は多いと予想されます。海上戦力の近代化について、潜水艦は日本が22隻に対して52隻と倍以上持っています。中国の原子力潜水艦、これはSLBMという潜水艦発射型の弾道ミサイルを12弾ぐらい搭載しています。これを大体7隻ぐらい持っています。水上艦艇は日本の47隻に対して71隻、倍ぐらい保有しています。空母については、番艦の「遼寧」。次が「山東」。これは国産型の一番艦です。そしてついでこの間、6月に浸水したのが「福建」と言われる空母になります。これは国産の二番艦で、これはステルス性を持っており、電磁カタパルトを装備しています。電磁カタパルトを装備することで何が起るかと言いますと、これまでの遼寧や山東はスキージャンプ式の飛

## ■ロシアの動向

ロシアは冷戦崩壊後、ガクンと兵力を落としていました。航空機については9,500から1,200機、艦艇は650から100隻、人員についても200万から33万人と、だいたいソ連時代の2割程度になっていました。一方で国防費は2000年頃から資源高の影響もあって右肩上がり上がってきていました。現在はGDPの約3%となっています。なお右肩上がりと言いましたが、兵力数はむしろ減っているか、維持しているような状況です。これはどういうことかと言いますと、近代化の方向に進んでいるから。数よりも中身を重視しはじめたこと、のべ10年勤務しておりまし

んです。シカトじゃない、私事はない「無私」。「俺は海上幕僚長として、無私を心掛けています」という話をされました。その言葉は今でも私の胸にささっている、色んな判断に迷う時には「無私」といつたことを意識するようにしています。私事、私心に走っていないかというのを、まずフィリターにかける。これが海上幕僚長との車の中での出来事でありました。

であるハワイが射程内にすっぽり入ります。そして今年3月に発射された火星17号。これはアメリカがすっぽりと入りワシントンも射程に入ってしまう。近年この火星17号レベルが出てきたことによつてアメリカは本心に心中穏やかでない状況だと思えます。

行艦で自分の推力でもって飛び上がらないといけない。ところがこの電磁カタパルトはボーンと打ち出す、これはまだ米国しか持つていない技術ですけど、これによつて相当な燃料と装備を持ったまま飛び上がることができません。あと早期警戒機。このカタパルトによつて固定翼型、お腕を上につけたような早期警戒機を福建は運用することができ、より広範なエリアを早期警戒機でカバーすることが出来るようになります。これは非常に威圧、脅威になりつつあります。

## ■海上自衛隊の活動

こうした情勢を踏まえて海上自衛隊がどのような活動をしているかについてご説明したいと思えます。我々は戦略目標を3つ定めています。1つめは、「我が国の領域及び周辺海域を守る」こと。これは当たり前、一丁目一番地になります。何かあった時にはまずはそれを抑止することです。しっかりと対処する。もう一つが、「海上交通の活性化」。島国ですので貿易の99%を海上交通に頼っています。それをしっかりと守っていくこと。あと、「望ましい安全環境の創出」。脅威を未然に防止するということ。ではこれを達成するためにはどういうことをしていかなければならないのか、一つが「環境の形成」です。海上自衛隊はかなり浪花節的になりますけれども、平時の対応につきましては、戦う前に勝ち、有事においては戦えば勝つ。こういうスローガンを掲げて日々活動をしています。まずハイレベル交流、閣僚協議です。これは同盟国やパートナー国と人的ネットワークを維持発展させることによつて、相互理解ですとか、関係を進展させていき、不測の事態を予防しようというものです。次に「国際緊急援助活動」。人民救助はもとより、発展途上国だと災害により治安が不安定になることによつて脅威が生起する。こういったことを防ぐために

積極的に国際緊急援助活動を実施しています。トンガにおいては、今年1月に海底火山が爆発した時に援助活動を行なっています。次に、防衛装備構築、能力指導。これは特に発展途上国が大国に飲み込まれないように防衛装備あるいは人的側面で支援をしていこうというものです。

## ■隊員家族、関係者みんな頑張っています

2009年から海賊対処法、2020年から情報収集活動が始まりました。当初は2隻2機でしたけれども、今年から1隻減らして1隻2機、400名をもって海賊対処法や情報収集活動をオマーン沖からアラビアの海域で実施しています。5月に護衛艦はるさめが佐世保から出港しました。今日も護衛艦きりさめが出港しました。私は航空パイロットですが、航空機が出ていくときはあつという間。護衛艦を見送りするとき、船というのは岸壁に隊員たちがいて横に小さいお子さんですとか彼女さんとか若い女性たちが手で涙をぬぐってました。小さいお子さんも、「お父さん」といながら隊員の前で手を振っている。船はじわつと出ていくんですね。結構胸があつくなる。我々だけでなく隊員家族、彼女、彼氏含めて一生懸命頑張っている、これを紹介させて頂きたい。

次は共同訓練をご紹介したい。日米英蘭など7か国。このときはアメリカのロナルドレーガンとカーリンソン、イギリスのクイーンエリザベス、そして日本の「いせ」。空母3隻と空母みないな艦船、全部で17隻、壮観な訓練でした。場所も沖縄ですが、結構向こうの国は反応してましたね。それだけインパクトがあった。それから日独共同訓練。昨年はイギリス、オランダ、ドイツなどヨーロッパの海軍が多くこの地域に来ました。東アジアに多くの関心が集まった、それがしっかりと戦略メツセージとして打ち出せたといえます。なお、一昨年の実績はこの共同訓練は62回、これに対して昨年は111回と倍。手前みそですが、去年は頑張りました。昨年10月の海上自衛隊の国内外の活動状況ですが、この時、最も多くの海上自衛官が洋上にいました。周辺海域に3,000名以上が浮いていました。訓練や警戒監視など洋上で頑張っていました。その陰では懸命に支える家族もいます。皆頑張っていますと伝えさせて頂きます。

## ■災害派遣、急患輸送

国内的な話ですが、一つは災害派遣です。最近の災害派遣状況、今回も台風が佐世保に上陸しましたが、特に地震と違って風水害はある程度予測ができますので、

我々としてはそういう兆候が予報の中に出ていると、いかに早く備えるか、例えば、市町村への連絡員を事前に配置して、あるいは事前に展開するというのが風水害に対応するキモになると認識をしておいています。

次に急患輸送。これは昨年の実績ですけど、大村空港から44回実施しました。あと鹿屋、奄美のほうも我々は担当しています。私は20年ぐらい前に大村で飛行隊長をやっていました。その時は防災ヘリもない、ドクターヘリもない時代でしたので、実はこの大村だけで年間200件ぐらい実施していました。通信かポケベルの時代です。映画館にいても夜中でもがががんポケベルが鳴って。そのときの隊員たちはとても士気が高かったですね。特に新生児が病気になるって運んでもらいたいというとき、隊員は自分の子供と重ね合わせる。天候が悪くても行くこととする。私は飛行隊長として彼らを止める、やはり二次災害を防ぐためもう少し待てと、そういうのが私の役割でした。それくらい隊員たちは急患輸送に対しては真摯に取り組んでいました。助かった方からお礼状を頂くわけですが、それを飛行隊事務所に貼つて、それが我々の本当に励みになっている。目立たないながらも、こういうところでも隊員たちは頑張っています。

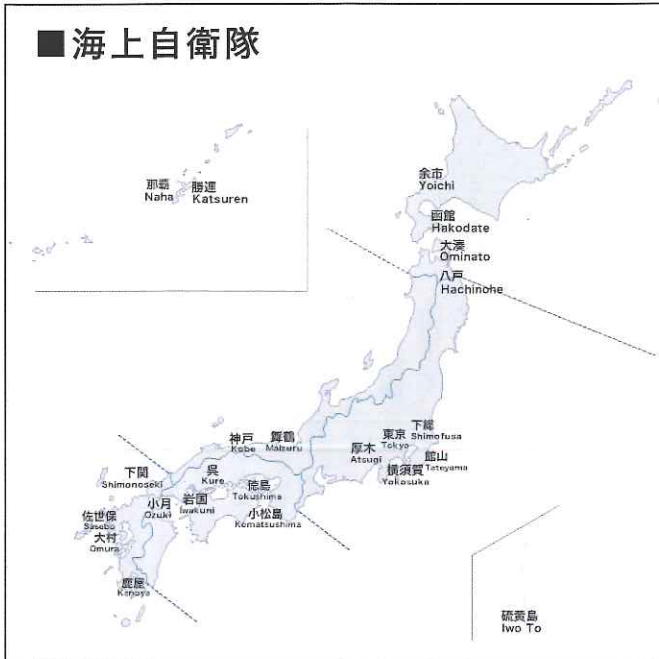
## ■「国民の支持」が隊員の士気を高める

最後に、昨今のウクライナの情勢です。一番私が思うのは、軍人の士気は大事だとあらためて思います。ウクライナがあれだけ頑張っているのは軍人の士気が高いから。その軍人の士気が高まるためには何が必要なのか、やはり国民の軍人に対する支持。同じ方向を向いていることは本当に大事なことです。翻つて、我々自衛隊は当然出動していきますけども、その時にやはり国民の支持は必要です。それがあって初めて我々自衛隊員の士気が上がり、任務に臨めるのではないかと。そういった観点からも、自衛隊後援会の存在というのが本当に心の支えになる。いざというときにですね。そういうことを皆様には期待させて頂きたい。以上です。



# 海上自衛隊警備区・陸上自衛隊部隊配置と組織図

## ■海上自衛隊



## ■陸上自衛隊

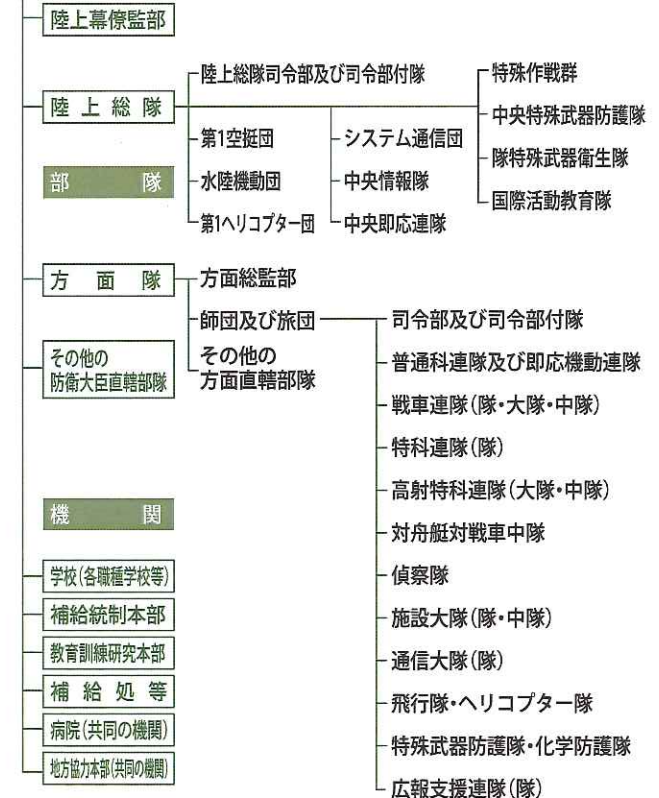


### 防衛大臣



出典:海上自衛隊Webサイト  
<https://www.mod.go.jp/msdf/about/org/>

### 陸上自衛隊



出典:陸上自衛隊Webサイト  
<https://www.mod.go.jp/gsdf/station/>

### 佐世保自衛隊後援会



ホームページ

### 水陸機動団



ホームページ



Twitter

### 海上自衛隊佐世保地方総監部



ホームページ



Instagram



Twitter